

部長	次長	課長	係長	係内供覧	担当

会議録

起案日：令和4年5月1日

下記のとおり会議録を作成しましたので報告します。

件名	令和4年度 第1回ホール事業推進会議
日時	令和4年4月19日(火) 19:30 ~ 21:00
場所	春日住民センター 大会議室
出席者	[委員] 角悟会長、荻野直貴副会長、安達三紀子委員、中谷太一委員、梅谷浩子委員、臼井学委員、広瀬仁美委員、吉見順子委員 (※欠席：田邊利典委員、中澤正樹委員) [事務局] 文化・スポーツ課長 宮野真理、芸術文化係長 堂本英明
<p>【会議要録】</p> <p>1 開会 宮野課長 令和4年3月23日に予定しておりました本会議が急遽延期(過半数以上の欠席)になったことのお詫び。本日、都合により田邊利典委員の欠席連絡あり。(中澤正樹委員は翌日欠席のお詫び連絡あり。)</p> <p>2 あいさつ 角会長 毎日、新聞を見て確認していますが、丹波市内のコロナ感染者数は、中々減少とはなっておりません。そういった中、私が所属している混成合唱団もずっと練習を休んでおり、5月1日の役員会で今後の練習の再開について相談する予定です。皆さんが所属されている団体におかれましても同じ様な状況ではないかと思えます。 本日の会議は、短い時間とはなりますが、委員の皆さんの忌憚のないご意見をいただき、有意義な会議となりますよう協力をお願いしたい。</p> <p>3 報告事項 ① 令和3年度事業実施報告 会議資料(P1~P3)に基づき説明(事務局：文化・スポーツ課 堂本)</p> <p>【角会長】 ありがとうございます。令和3年度事業実施報告を詳しく説明していただきました。この中で何かご質問等意見がありましたらお願いします。</p> <p>【角会長】 演歌にお客が入ると思いつつ、意外と天童よしみさんが入っていない。定員250名とはいえ180何名でもうちちょっと入っているかと思いました。</p> <p>【事務局】 当時は、緊急事態宣言下でありましたので、入場者を制限している関係で少なからず影響したと思います。また、チケットを購入された方がキャンセルされたこともあり、こういった人数になりました。</p> <p>4 協議事項 ① 令和4年度事業計画(案) 会議資料(P4~P5)に基づき説明(事務局：文化・スポーツ課 堂本) ② 令和4年度丹波市立文化ホール運営方針(案)</p>	

【角会長】

ただ今、令和4年度の事業計画（案）について詳しく説明がありました。色々な事業があるわけですが、遠慮なくご意見を出して頂いたらと思います。

【荻野副会長】

全体的に事業が減少しています。この原因については、先ほど丹波の森公苑の改修工事等の説明をいただきましたが、職員の2名減ということが現在に至っております。職員減により事業が縮小せざるをえなかったのか、それがどうなのかという部分が1点。職員数減により事業数が前年度12事業から5事業に減少している。

こういった事業を実施するにあたって、あくまで市サイドでセッティングをさせていただいているのですが、我々委員が会議に出ているということは、令和4年度の事業計画を遂行するにあたっては、もっと早い時期に、本来ならば令和3年度に開催するべきところ、前回3月23日についても遅いと思います。もっと早い時期での事業計画をしていかないと、市サイドが決めたところで、私たちは「わかりました。そうですか。」としか言いようがないと考えます。

各委員様がいる中で、色んな意見を頂いて反映させていただく、委員の役割の立ち位置とか入れていただいて、きちっと進んでいかないと、ただ報告だけの委員会では意味がない、そういったところをお聞きします。

【事務局】

ありがとうございます。1点目2点目とありましたが、2点目から説明させていただきます。本会議は、文化ホール事業の推進に関する事項、また、文化ホールの活性化の意見を頂く推進会議でございます。適正な時期に開催できていないというご指摘であります。これにつきましては、予算前、年度が始まる前にとというのが基本的ですが、年度が始まる前にできなかったということ、タイミングが十分でなかったというところで、前回にも指摘をいただいたところですが、今年度は予算前に実施をいたします。

職員減につきましては、先程説明を行いました。4名の会計年度任用職員のお世話になる方について退職があった中で2名の欠員になっているところです。引き続き2名の募集はしていますが、専門的な知識が必要である状況になっています。引き続き職員の募集、またスポットとして来ていただく方をお願いする中で、私が考えるには、丹波市らしいステージとかホール運営の中ではアマチュアアーティスト育成支援事業（A2事業）が基本でA2事業をきちっと、実行委員さんともにお世話になりながら実施していきたいと思っております。それぞれの特色あるピックアップアーティストの事業は、可能な範囲で対応していくということで、このような計画案を出させていただいております。職員の体制については、引き続き対応をしていくつもりです。

【荻野副会長】

ただ会議だけをするのであれば、市サイドに決められたものについて「わかりました」だけであり、年2回3回来させていただくのであれば、それぞれの意見を吸い上げていただいて、各委員の立場・文化というものを、きちっと聞かないことにはいかなるものを開催しても変わらないという感じを受けました。

【角会長】

ただ今、宮野課長からのホールの運営側としての立場から意見を聞かせていただきました。せっかくの機会でありまして、ここでしっかり意見を交換していただかないと次のほうに進まないと思っておりますのでお願いします。

【臼井委員】

奈良県出身のシンガーソングライター“やなせ なな”さんは、全国各地で公演をされた実績を持たれているので、今後、音楽系公演として検討をされてはどうかと思います。

【梅谷委員】

テーマとしては、大型鑑賞型コンサートということで、シンガーソングライターということは親しみあるのかなあとと思います。この内容を見ていると、年齢層の広くバランスを取りながら考えておられるのかなあと見ていました。音楽鑑賞公演としてピックアップされている先方さんの予定でこれから決まっていき、企画委員の中で多数決をとって決めるのでしょうか。

【事務局】

今年度の事業計画案にあります候補者につきましては、これまでに委員様などから提案があったものを記載させてもらっており、今後、相手方のスケジュールや予算により、現在の候補者の中から決定して行きたいと考えております。

今後、市民の皆さんに喜んでいただけるという候補者があれば、予算やアーティストの方の日程があるので、必ずしも希望に沿うかわかりませんが、ご意見を言って頂けたらと思います。

また、先程、臼井委員から、ご提案いただきましたシンガーソングライターの方につきましては、呼びかけるかどうかは、本年度ないし次年度を含めて幅広く次年度の事業計画を検討してまいります。

この会議は、昨年度1回しか実施できませんでしたが、荻野副会長からお話があったとおり、定期的な開催でその都度意見を聞いた中で事業計画を考えていきます。

【角会長】

候補者に記載してあります「東京大衆歌謡楽団」は、前回の会議で、田邊委員がおっしゃったと思います。また、矢井田瞳さん、山崎バナラさんの話も出ていたと思いますので、前回の会議が活かされていると思います。

【吉見委員】

ホールの技術者が2人辞められても公演はできるのか、その時だけバイトを雇うのですか。

【事務局】

昨年度はホール技術員4名で運営をしていましたので、大きなイベントはオペレータークラブ ZERO-IVさんにご協力をいただきながらホール運営をしていました。現在、ホール技術員は2名でありますので、一時的に応援に来ていただく職員は確保しておりますが、その方も仕事をされているので、今常勤で勤務していただける方、ホール技術員は専門性が高い職種であるので、できれば経験者という形で探している状況です。

また、4月当初にライフピアいちじまでありました貸館事業におきましては、スポット職員に応援に来ていただいておりますが、仕事の都合で年度を通して来てもらえるかはわかりませんので、常勤のホール技術員の確保は急務と考えております。

コロナ禍ではありますが、ホール事業を見直している課題としては認識しておりますので、ホール職員確保に努めてまいります。

【吉見委員】

外部組織構築はどのような状況ですか。

【事務局】

現在は市の職員でホール運営をしているのですが、人事的ローテーションで何年かで職員が代わっていったりするので専門性の高い業務を継続していくには、市職員だけでは難しいと感じています。専門的な方々に一部ホール運営を担ってもらうことも視野に入れながら考えているところです。

【事務局】

職員だけでホール運営を継続していけるのかは大変厳しい状況です。オペレータークラブ ZERO-IVさんにご協力を頂いて大きいイベントは実施しております。ホールの運営体制につきましては、前年度10月にも意見交換をしていただいております。その中でも、箕面市、養父市等の状況確認はしているところです。

全体の意見の中で、それぞれの委員の意見につきましては、会議記録があるので参考にさせていただきます。今回の出演候補者は多数決ではないのですが、コロナ禍でもあり、時は流れておりますので、今この方がという意見を頂けたら嬉しいです。

【広瀬委員】

オペレーター養成講座に今回違う形で参加をさせていただいたのですが、オペレーターの方の募集とか、人が増えたりしたとか、今までとは違うことをされたのでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。今回、令和3年度については報告させていただいたところです。コロナ禍の影響で、長期の講座は実施できていません。「はじめの一步」という形でオペレーターに興味をもって頂く短期的な講座を令和3年度は開催しました。

令和4年度につきましては、オペレータークラブ ZERO-さんと協議をしながら、オペレーターの方、会員様にホールを支えて頂いておりますので、方向としましては、「はじめの一步」というところで、

広く講座をしていることを呼びかけられる広報誌や、チラシ等で知ってもらうところから始めていきたいと思います。

【荻野副会長】

実際にオペレータークラブ ZERO-IVの会員が年々減ってきています。令和3年度が43名、今年度35名まで減ってきています。前年度には4名の受講生がありまして、うち2名が加入していただいて、4月から活動をされている状況です。昨年度末あたりから養成講座をされていたということで、もっと早い時期に募集とかしていただかないと、現在35名で、実際に来ていただける方は限られており、後継者を創るという意味では、オペレーター養成講座を早く開催していただくことをぜひともお願いしたいと考えます。

【事務局】

オペレータークラブの会員様につきましては、少しずつ減少しているところです。照明や音響など10回の講座を受講していただくのは安全確保が大切になり長期となりますので、講座が成り立たないということがないように、適正な時期に講座を開催していきたいと思います。

【角会長】

ステージに有名な人がいても、バックのオペレーターがいないと成り立ちません。我々合唱団としてステージに上がるとしても、照明なり音響の世話をしてくれる人がいないとうまくいきません。そういった意味で、オペレータークラブの重要なところがあるので、しっかりと進めていただきたいと思います。

【中谷委員】

吹奏楽部の顧問をしているのですが、中学・高校の吹奏楽部の生徒がここ2年ぐらい地域での演奏がほとんどなくなって、他の団体と交流することがセーブされている中、令和4年度の事業計画案であるような、出演者とコラボをすとか、高校生が活躍できるようなステージがあることは有難いと思いました。

今後、学校でやりたいと思っていることは、今のご時世から平和をテーマにした曲が出来たら良いと考えているところです。

【角会長】

吹奏楽は直接口から息を出すので、コロナのこの時期はやりにくいですね。中澤委員が来られていないのですが、氷上吹奏楽団も特に気にしておられます。我々コーラスは、マスクを付けて歌ったりしているので、練習の場合もそうですが、吹奏楽はそうはいかないので大変だと思います。

【安達委員】

事業を推進する会議ですが、事業の回数が少なくなってしまっているのは、コロナの影響があるのかと思いますが、丹波の森公苑の改修工事が決まった時点と、職員減が重なったということですが、回復していく見通しがあるのでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。もちろん回復するように考えています。一つは市職員が中心になってずっと運営していくのは厳しい状況ですから、その中でホール運営していただく組織の構築、事業を担っていただく体制を整えたいと思っています。コロナ禍では制限されていますので、今年については共存しながら感染対策をし、可能な限り進めていって、終息した時には、活動というか事業できるように従来の準備をしていきたいと思っております。

【角会長】

令和4年度事業計画案の最後にあります「外部組織の構築を関係団体と協議を行いながら進めます。」と記載されていますが、この件について実際には動き始めているのでしょうか。

【事務局】

実際には、4月に入りまして外部組織の構築に向けて、関係団体との話し合いを始めたところです。今後、この会議の中で進捗状況やこういった形で進めるのかについて、説明や報告をする予定です。

【荻野副会長】

今後のホール運営を担う外部組織体制の構築がある中で、ご存知かと思いますが、3月の議会の

中で一般質問がありました。その中で直営の運営はできないといった方向性を市長がお話をされていることは、この会の中で話はあるのでしょうか、あるべきだと思うのですが。

【事務局】

本会議はホール事業の推進に対してのご意見を頂く貴重な場であります。現在、新しい組織について検討を始めたところですので、適宜、この会議の中で報告していくように考えています。

【事務局】

3月の議会については、今資料を持っていないのですが、議員さんの方から、今後の文化ホールの運営化・組織化について、体制づくりを始めてはどうかという質問です。市長からホール運営は高い専門性がある、ホールの専門職員を自治体で独自育成していくのは困難になってきていて、丹波市ならではのホール運営が継続して実施していける組織体制を考えていきますと答弁をしています。

大きく答弁しているところは、重複しますが、直営で市の職員がしていくのではなく、今後は、丹波市ならではの組織体制の構築を進めていくという方向でございます。ご存知の通り、計画の時に委員としてお世話になっている先生もいらっしゃる中でいうこともないのですが、丹波市ならではのというのは、大きいホールでは業者さんに全部委託されていますが、丹波市においては、アマチュアアーティスト育成事業（A2事業）で、スタッフの方も市民の方にお世話になり、出演者の方も子供から年配の方まで出演して頂いて、観客の方も市民の方に感動してもらえるよう、一体になって進めているホール運営が丹波市ならではの独自性だと思いますので、そのホール運営が継続できるような体制をとっていただけると考えているところです。

【角会長】

荻野副会長にお聞きしますが、竹内さおりさんのピアノを聴きに行ったのですが、あのホールのバックアップもオペレータークラブ ZERO-IVさんがやっておられるのですか。

【荻野副会長】

はい。音響や照明などホール運営に関わっております。また、竹内さんの場合はほかのホールに比べて評判が良かったと聞いております。

【角会長】

現在のホール運営に関することでは、大変大事なところだと思います。資料4ページの下に記載の持続可能なホール運営体制、最近はやりのSDGSとか書かれていますので、ぜひ持続可能なホール運営をお願いしたいと思います。

【安達委員】

なかなか難しい問題ですが、私たちは色々なところで習っていることを披露して、自分たちがそれに向けて一生懸命練習した成果を一般の人達に見てもらおう立場でいます。その中ではやはり自分が出演する立場になった時に、練習してもなかなかうまくいかないジレンマの中で活動をしているのですが、極めることは上には上があり、いつまでも未熟でなかなか自分が満足することができないのですが、やはりプロの方を見たり聴いたりすると違うと思うのが正直なところです。そうした自分たちのやっている限界を感じながら、それでも精進していく気持ちは、色々な機会に出て、今年去年はコロナで無かったのですが、人間は心が押しつぶされそうになると心が狭くなっていて、同じにしてもだんだん面倒くさくなり辞めようかなと思って活動が減少していきます。

「丹波ならではの」とはいい言葉ですが、みんなが納得する丹波ならではの何かを示さないと、本当に一個人が一生懸命にやっているのが、大勢の力がひとつに爆発する機会にはなったらいいと思います。

色々なところで文化祭が行われるのですが、井の中の蛙で大きな所にも行く機会もないし、丹波の中で小さく大海もいわず浸かっているのでもいいのかではなくて、丹波ならではの何かあるけど、大海を見ろというのも大事だと思います。

ホール事業をしていく中で、来ていただける方には入場料を払ってもらい、採算の取れる方向でいかないといけないので、どれだけの人がその方を知っていて、感動できる方を呼べるかとなったら、難しいと思います。

自分たちが一生懸命やっていることに満足するのではなく、色々な人のものを見せて頂いて、丹波中が良かったといえる事業を考えると難しく思います。丹波らしさを前面にアピールする心意気がないと、言葉だけで終わってしまうのでは思いながらも難しいと思います。そんな心境です。

【角会長】

ありがとうございます。今おっしゃられたとおり、大型鑑賞とか小規模鑑賞にしても、自分の関心のあるものには行けるけど、そうでないものには行きにくいというのもあって、昨年度の事業としても演歌が意外と少ないと思ったりもします。私は、クラシックが好きなのですが、神戸混声合唱団が来た時も、丹波市には合唱サークルは結構あるのに少なかったのはわからないところです。

【荻野副会長】

春日文化ホールやライフピアいちじまのホールは生涯学習施設の建物であります。営業館ではないわけなので、安達委員さんが言われた通り、市民参加ができるホールで文化団体などがたくさん出ている部分があります。

また、踊り保存会の70歳、80歳のおばあさんが踊られる姿を見て、お孫さんとかが見に来られるのを想像したら、文化芸術に親しんで、帰ったら話ができるのがこの施設の在り方なので、オペレーターとしてはバックアップで支える部分があるので、普通のホールではないというのを、皆さんも感じて頂けたらと思います。

5 その他

① 委員の推薦について

【事務局】

現在お世話になっております各委員におかれましては、各団体の方から推薦を頂いているところです。令和4年9月に任期が終了しますので、各団体における委員の交代があれば、事務局まで連絡をお願いします。

【角会長】

委員の推薦は、いつごろまでに報告をすれば良いですか。

【事務局】

令和4年以降に変更される予定があれば、事前に把握をしておきたいので、わかり次第ご報告をお願いします。

6 次回の予定

【事務局】

令和4年9月末で委員任期が終了しますので、次年度の事業計画・予算等を踏まえた中で10月ぐらゐを考えています。その際は、日程調整をしてからご案内をさせていただきます。

7 閉 会 荻野副会長